



平成26年10月10日

各 位

上場会社名 津田駒工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 菱沼 捷二
 (コード番号 6217)
 問合せ先責任者 代表取締役専務 総務部長 竹鼻 達夫
 (TEL 076-242-1110)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年7月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年11月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,000	150	100	100	1.56
今回修正予想(B)	35,500	△1,400	△1,450	△1,550	△24.24
増減額(B-A)	△4,500	△1,550	△1,550	△1,650	
増減率(%)	△11.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年11月期)	41,177	△512	△606	△698	△10.93

平成26年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,000	250	200	200	3.13
今回修正予想(B)	33,200	△1,200	△1,100	△1,250	△19.55
増減額(B-A)	△4,800	△1,450	△1,300	△1,450	
増減率(%)	△12.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年11月期)	39,559	△366	△297	△334	△5.23

修正の理由

(連結)

繊維機械事業につきましては、中心市場であります中国の金融規制の動向とともに、中国の繊維製品市場の動向を注視しなければなりません。中国繊維製品市場では、フィラメント織物分野では在庫調整がなかなか進まず、設備投資の足かせとなっております。また、スパン織物分野では、原料の綿花価格の下落に伴い、設備投資はまだら模様となっております。こうした状況は当面継続されると想定されますことから、通期の予想につきましては、中心市場であります中国市場の落ち込みを取り戻すことは困難と判断せざるを得ません。

工作機械関連事業につきましては、工作機械業界や自動車業界を中心に、回復傾向にはありますものの、当初予想した伸びには至っておりません。

このような状況から、誠に遺憾ながら、通期の業績予想につきましては、売上高は35,500百万円と、平成26年7月10日に公表いたしました予想値を下方修正いたします。また、損益面におきましても、営業損失1,400百万円、経常損失1,450百万円、当期純損失1,550百万円に下方修正いたします。

なお、詳細は本日開示いたしました「平成26年11月期第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の通りであります。(個別)

業況につきましては上記に記載の通りであります。

通期の業績予想につきましては、売上高は33,200百万円、営業損失1,200百万円、経常損失1,100百万円、当期純損失1,250百万円に下方修正いたします。

(注)上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成26年7月10日発表)	—	0.00	—	—	—
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成25年11月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

修正の理由

当期の期末配当の予想につきましては未定としておりましたが、上記通期の業績予想の修正に伴い、誠に遺憾ながら無配に修正させていただきます。

(注)上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上